

ニュージーランド ゼスプリが中国でゴールドキウイの民事訴訟

Radio New Zealand 2023年8月3日

キウイフルーツの販売事業者であるゼスプリは、同社のゴールドキウイフルーツの中国での無許可の生産と販売を阻止しようと法的措置を講じている。

ゼスプリはサンゴールド(別名G3)品種の権利を有しており、ニュージーランドの生産者らはそれを栽培するために1ヘクタール当たり数十万ニュージーランドドル(数千円)を支払う。ある生産者が切った蔓を中国に持ち込み、2016年以降、中国で栽培される量が増加している。現在、ニュージーランドよりも中国の方がゴールドキウイの樹体が多いと考えられている。

ゼスプリのダン・マシソンCEOは、今朝生産者に送付された最新情報の中で、G3キウイの無許可の生産、販売、マーケティングに関与した2人の被告に対しての民事訴訟が中国の知的財産裁判所に提起されたと述べた。マシソン氏は、これは権利関係の有るキウイフルーツ品種を開発するためにニュージーランドの生産者が行った投資を保護する上で、また消費者にとっても重要な一歩であると述べた。

ゼスプリの最新の推計によると、現在、この儲かる果実は中国の7,850ヘクタール以上に植えられている。

マシソン氏は、中国での最近の法改正により園芸部門の知的財産権が強化され、具体的には昨年の子種法の改正により、当該果実を栽培した者だけでなく、販売した者に対しても行動を起こすことができるようになったと述べた。

業界の諮問委員会の代表団は、果樹園から市場までの状況をよりよく理解するために、今後数か月以内に中国を訪問することを計画している。裁判は9月中旬に開始される。

執筆者: モニーク・スティーラー

(関連記事)ニュージーランド ゼスプリが中国で訴訟手続きを開始

ASIAFRUIT 2023年8月4日

ゼスプリは、ゴールドスリー(Gold3)品種の無許可の生産、販売、マーケティングに関与した2人の被告に対して、中国の南京にある知的財産裁判所に民事訴訟を起こした。ニュージーランドのキウイフルーツ販売事業者であるゼスプリは、ダン・マシソンCEOからの最新情報の中で、中国の知的財産法の改正によりゼスプリが行動をとれるようになったと生産者に通知した。

マシソン氏は、「この案件は、権利関係の有るキウイフルーツ品種に対してニュージーランドの生産者が行った投資と、取引先及び消費者の利益を保護するための継続的な取り組みにおける重要な一歩である。これは、中国の園芸部門における知的財産権の強化によって可能になったものであり、継続的な投資と技術革新に対する支援を助長し、輸出業者だけでなく、地域の企業、パートナー事業者や消費者にも利益をもたらす開発者の権利を支援するのに役立つ」と述べている。(以下「」は通知における同氏の発言)

「これには、2022年に中国の子種法に加えられた改正が含まれ、それにより、ゴールドスリー品種の栽培者だけでなく、無許可のゴールドスリー品種の果実の販売者に対しても行動を起こすことができ、ゴールドスリー品種の果実の無許可の販売とマーケティングに対するこの民事訴訟の道が開かれた。」

マシソン氏によると、ゼスプリの最新の推計では、中国では約7,850ヘクタールで無許可のゴールドスリー品種が植栽されているが、新植の拡大は鈍化しているという。「我々は状況を注意深く監視し続けており、コロナ禍による旅行制限が緩和されたので、生産者、収穫後処理業者及びゼスプリの代表者からなる業界の諮問委員会(IAC)の代表団が今後数か月以内に中国を訪問し、無許可のゴールドスリー品種の果樹園から市場にいたる現在の状況を視察する計画が進行中である。」

執筆者: リアム・オキャラハン